

【証券コード：6728】

2016年度 第1四半期 (2016年7月~9月) 決算説明資料

2016年11月11日
株式会社 アルバック

◆将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。当社グループのお客様であるフラットパネルディスプレイ（FPD）・半導体・太陽電池・電子部品などの業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、FPD・半導体・電子部品・原材料などの市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

◆本資料における表示方法について

（特段の記載がない限り、数値はすべて連結ベースです）

数値： 単位未満四捨五入

比率： 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

会計期間の表現：

2Q（累計）： 第2四半期連結累計期間

2Q： 第2四半期連結会計期間

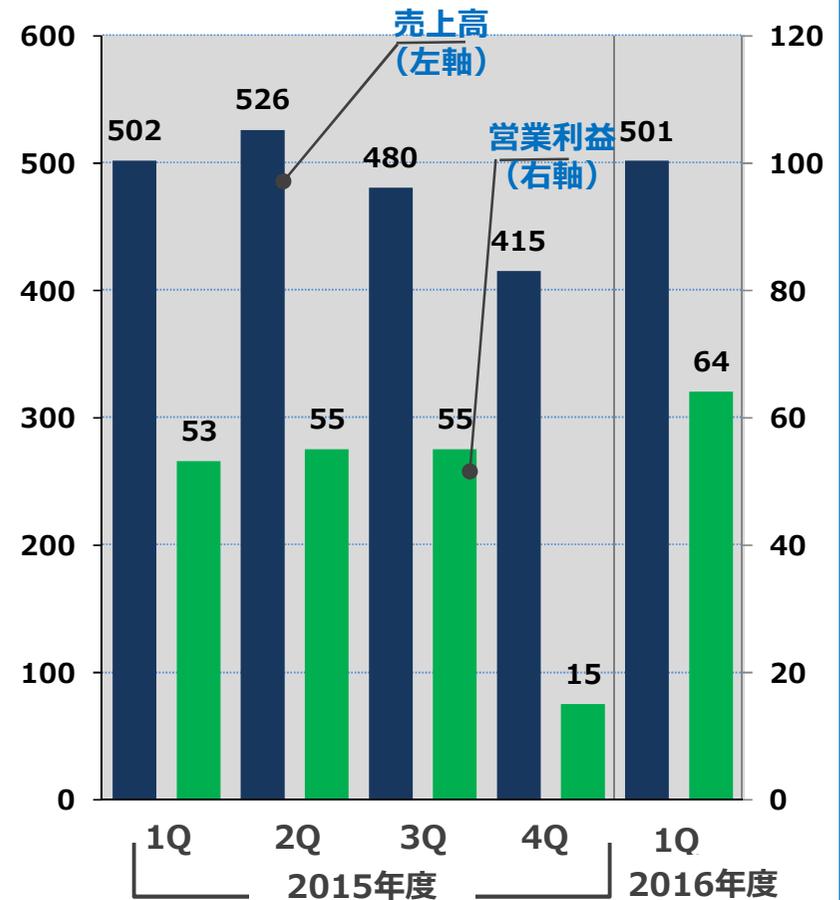
2016年度第1四半期連結業績概要

2016年度1Q連結業績概要

- 受注高 : FPD製造装置で、前年度に今上半期予定分の前倒し受注(大型テレビ向け)が重なったことの影響があり、全体では、前年同期比11%減。
- 売上高 : 前年同期比横ばい。
- 営業利益 : FPD、半導体・電子、コンポーネント等で利益率が改善、前年同期比21%増。

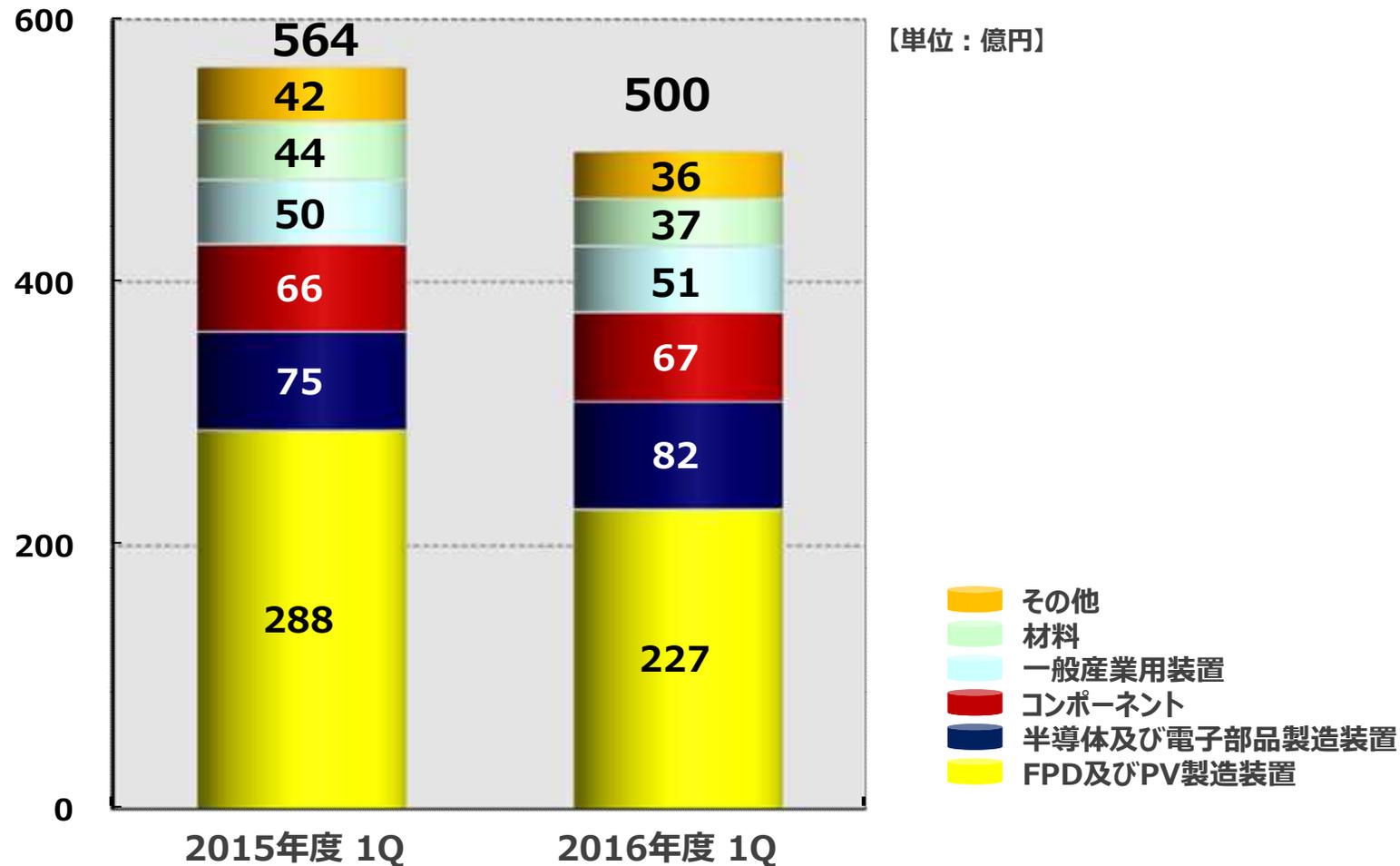
【単位：億円】

| | 2015年度 実績 1Q | 2016年度 1Q | 対前年同期 増減率 |
|-------------------------|--------------------|--------------|--------------|
| 受注高 | 564 | 500 | -11.4% |
| 売上高 | 502 | 501 | -0.2% |
| 営業利益 | 53 | 64 | 20.9% |
| 率 | 10.6% | 12.8% | |
| 経常利益 | 48 | 61 | 26.9% |
| 率 | 9.7% | 12.3% | |
| 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 32 | 51 | 56.4% |
| 率 | 6.5% | 10.1% | |



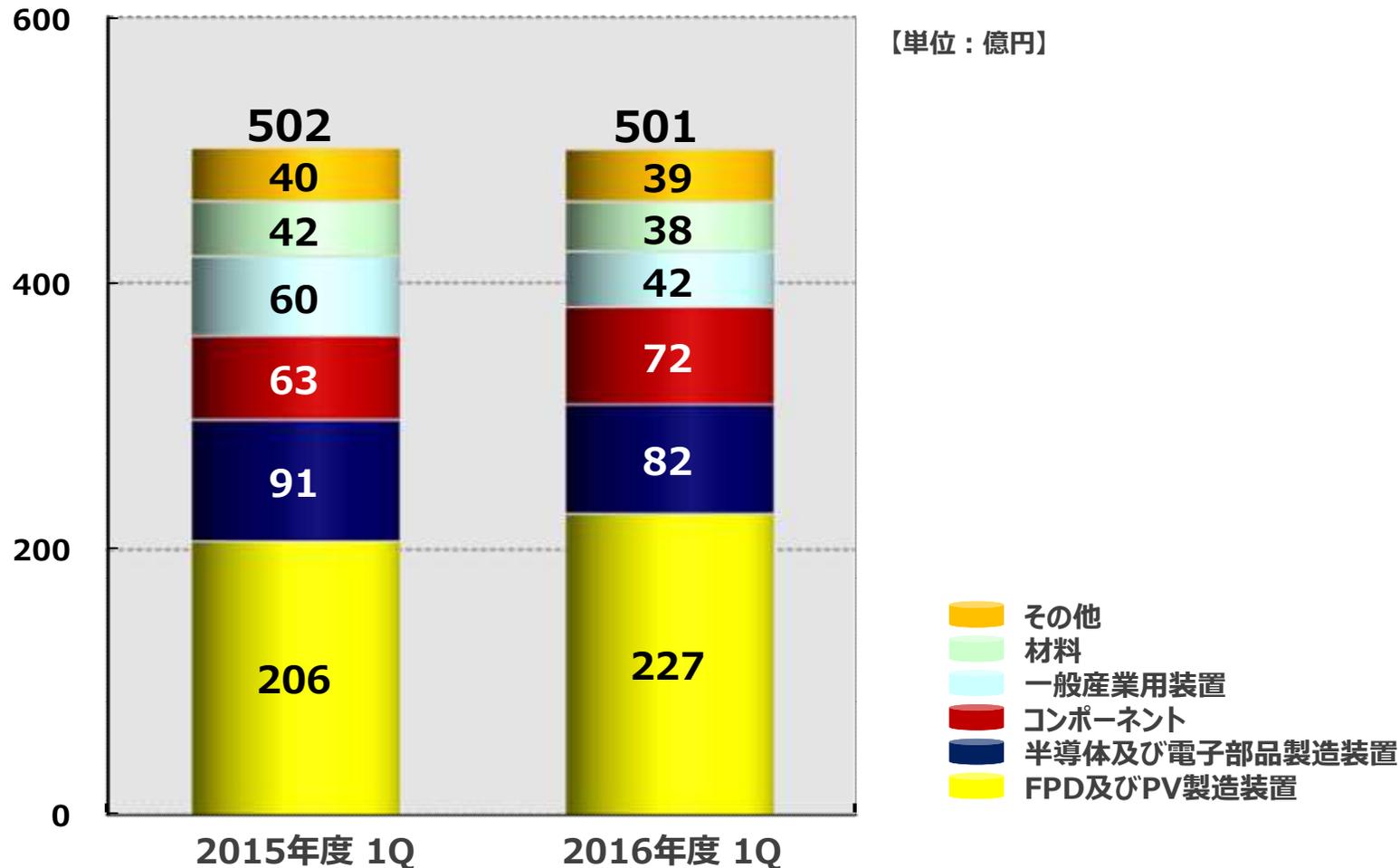
2016年度1Q連結業績概要 (品目別受注高実績)

FPD製造装置は、有機EL向けは増加したが、前年度に今上半期予定分の前倒し受注（大型テレビ向け）が重なったことの反動から減少。
 半導体及び電子部品製造装置は、高機能電子部品向けを中心に増加。
 全体では、前年同期比11%減。



2016年度1Q連結業績概要 (品目別売上高実績)

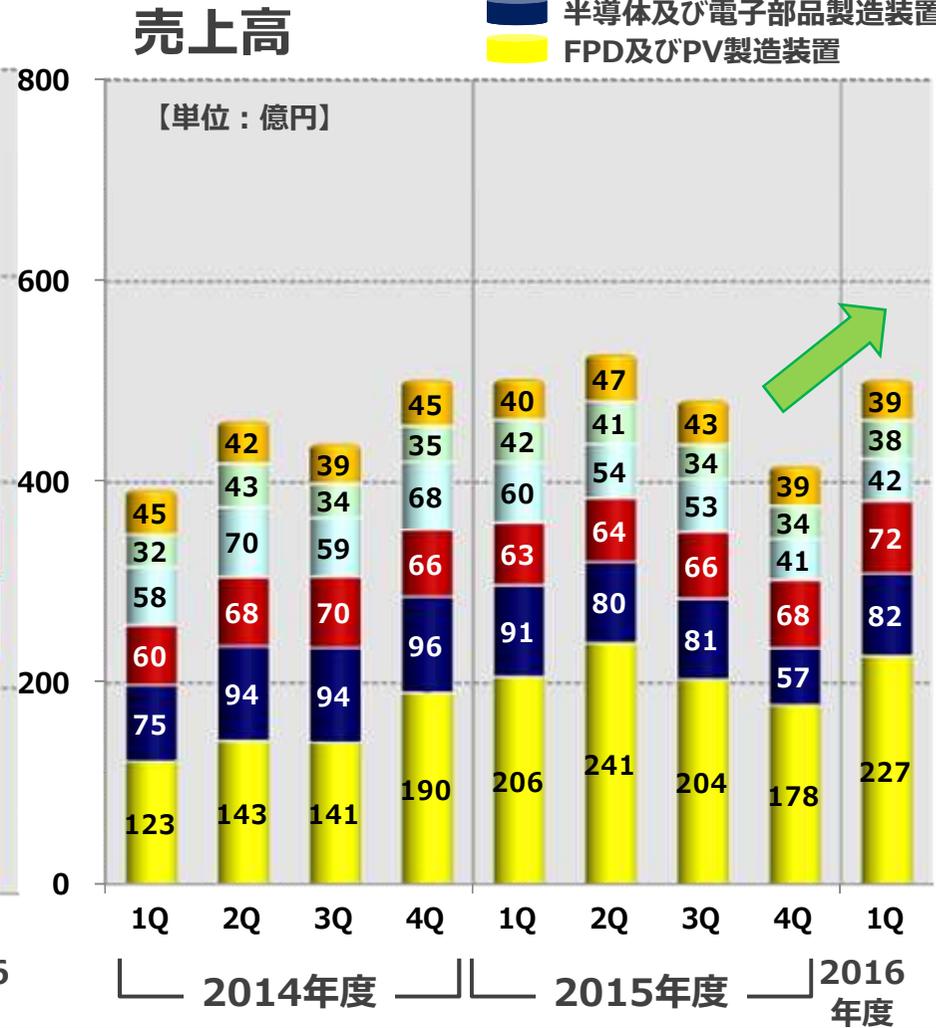
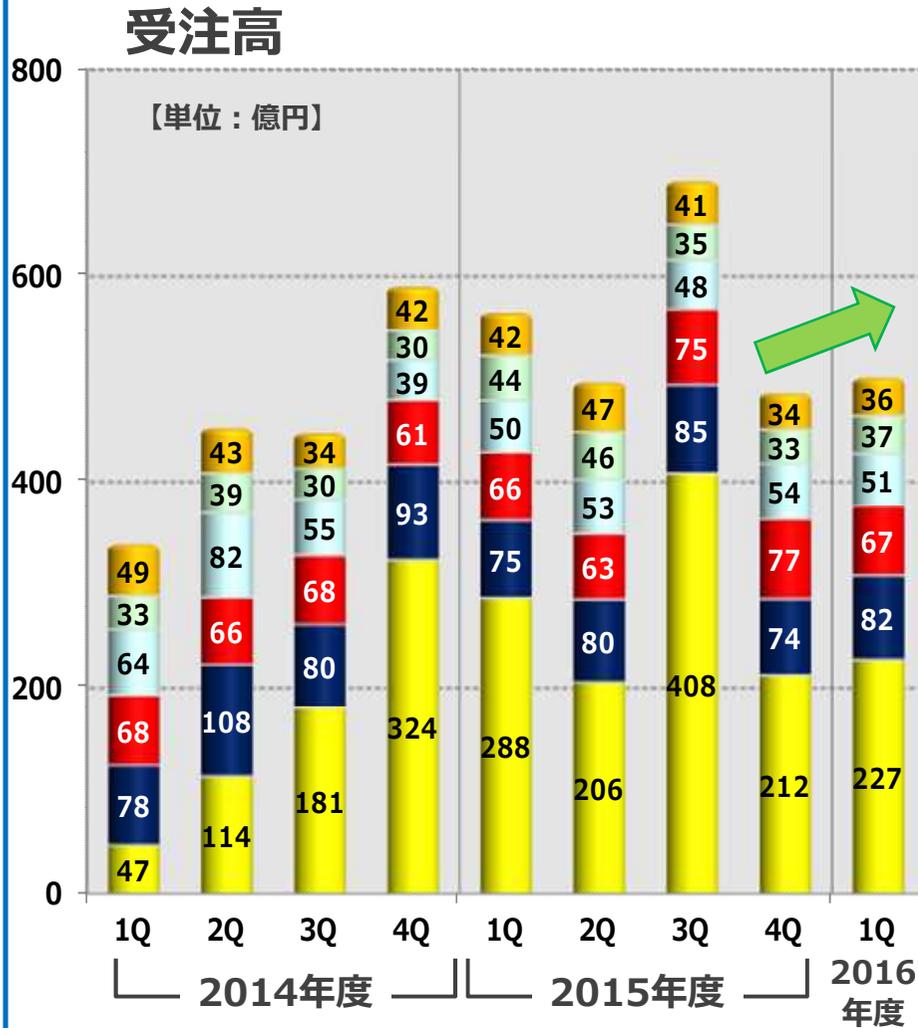
FPD製造装置は液晶パネル(大型テレビ) や有機EL向け、コンポーネントは有機EL向けクライオポンプを中心に、各々前年同期比増加。一般産業用装置は、中国などの景気減速の影響もあり減少。全体では、前年同期比横ばい。



2016年度1Q連結業績概要 (品目別受注高・売上高四半期別推移)

受注高、売上高ともに、前四半期比回復傾向。

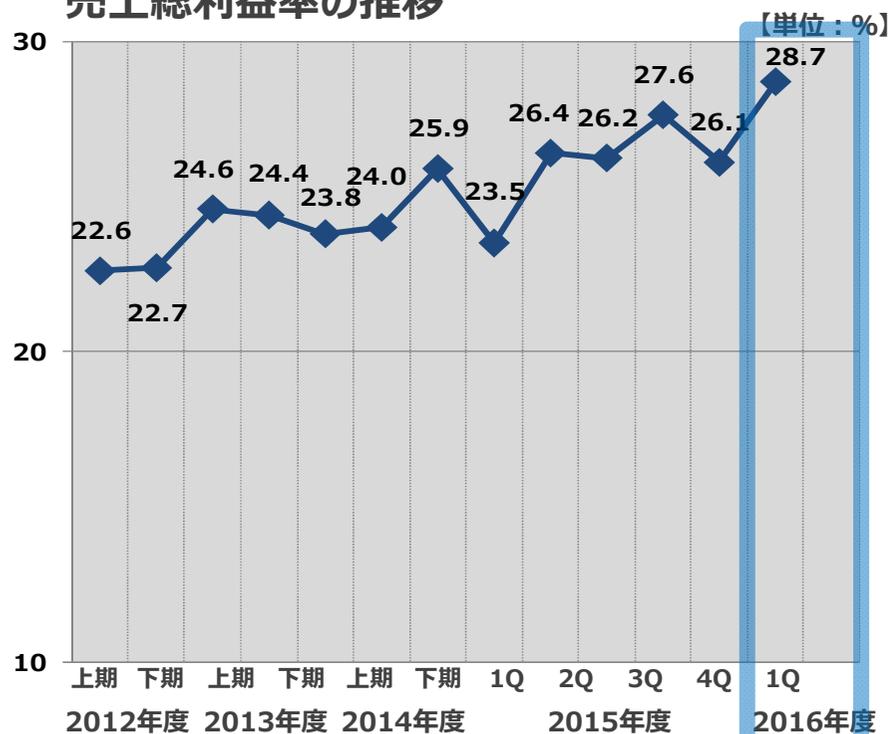
- その他
- 材料
- 一般産業用装置
- コンポーネント
- 半導体及び電子部品製造装置
- FPD及びPV製造装置



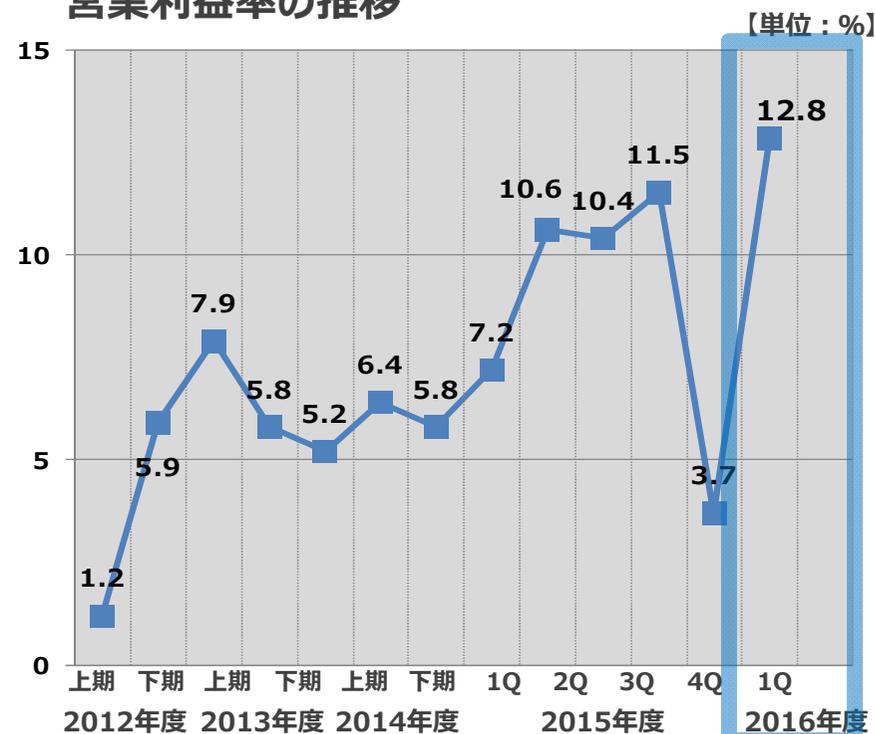
2016年度1Q連結業績概要 (利益率の推移)

売上総利益率、営業利益率ともに上昇。FPD、半導体・電子、コンポーネント等が寄与。

売上総利益率の推移

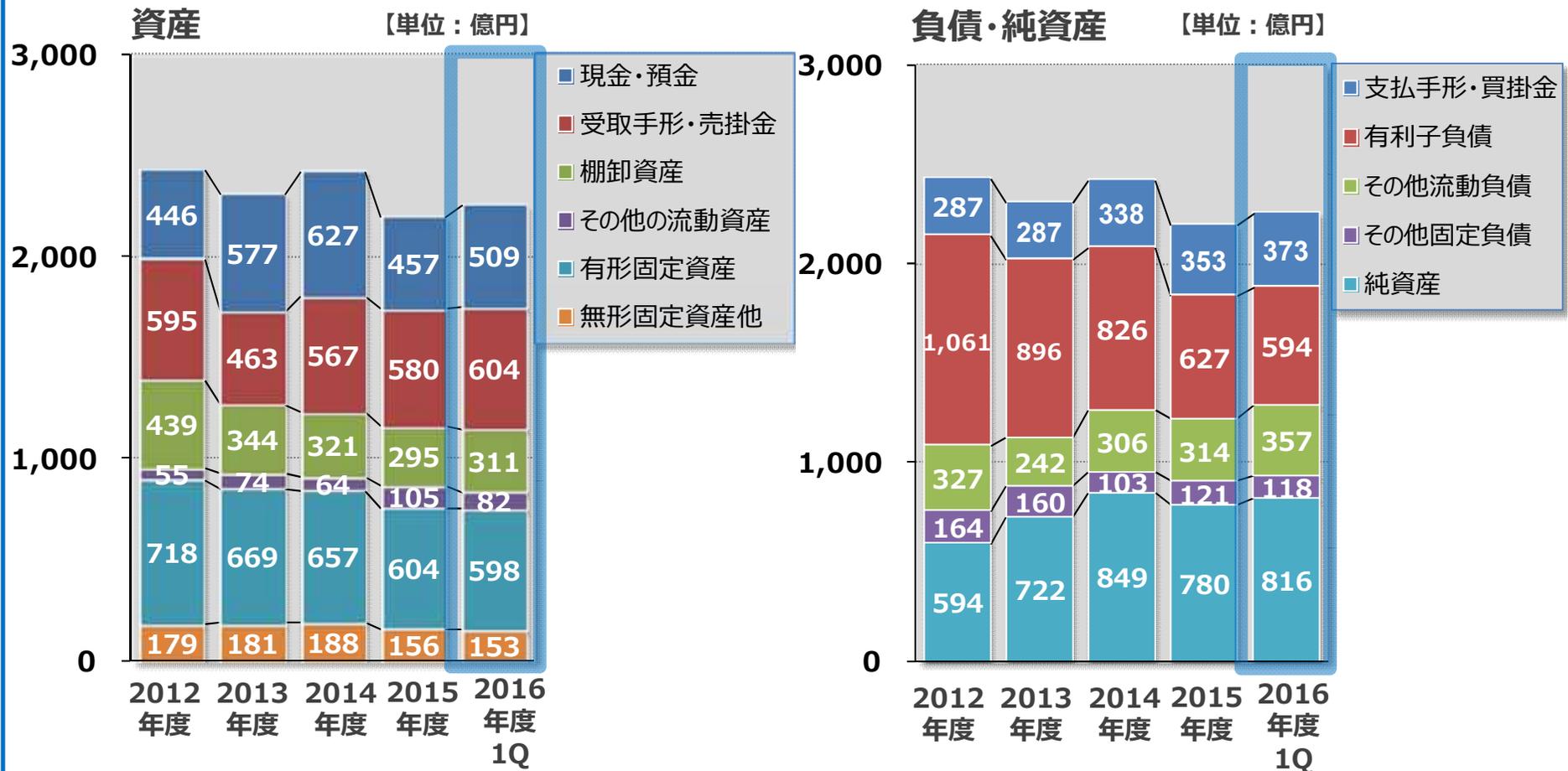


営業利益率の推移



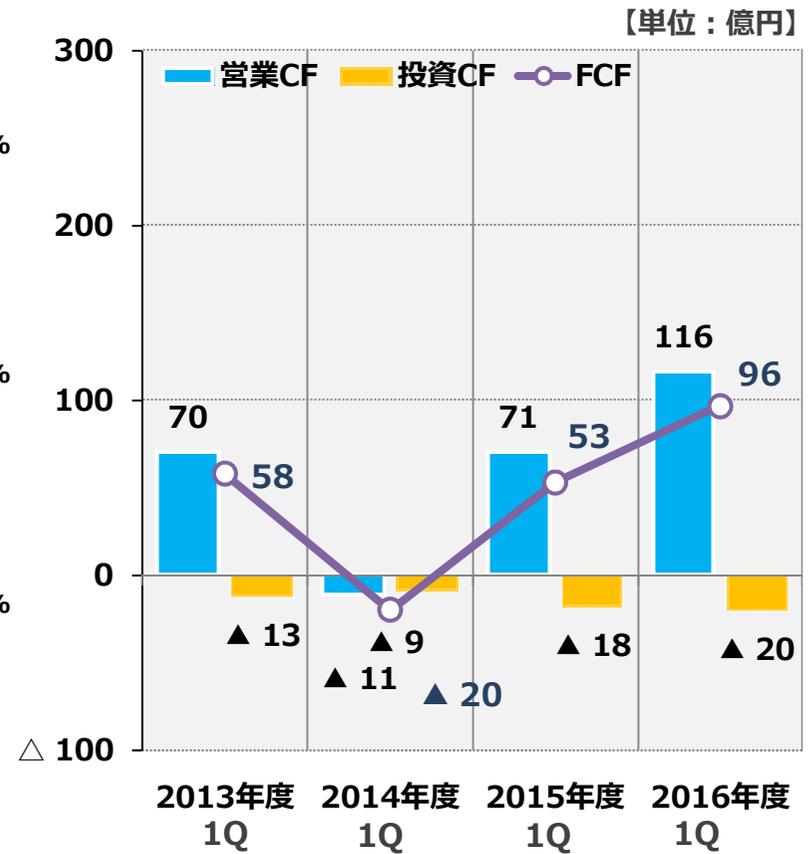
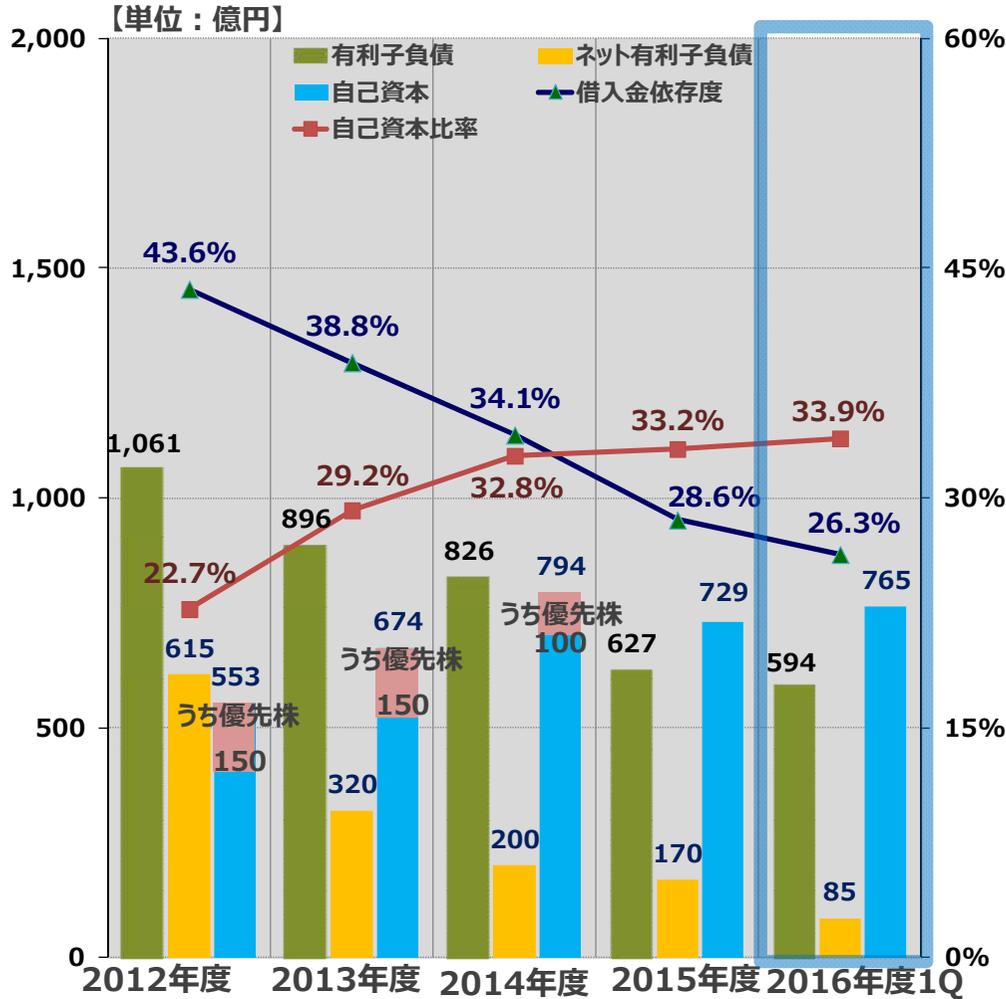
2016年度1Q連結業績概要 (連結貸借対照表)

- 売上高増加に伴い、前年度末比で受取手形・売掛金が25億円、支払手形・買掛金が20億円、各々増加。
- 現金・預金は52億円、純資産は36億円、各々増加。有利子負債は33億円減少。



2016年度1Q連結業績概要 (キャッシュフローと有利子負債の推移)

- 借入金依存度は26.3%に低下。自己資本比率は33.9%に上昇。
- 大口の前受金等もあり営業CFは116億円、FCFは96億円のプラス、ネット有利子負債は85億円に減少。



真空テクノロジーで
「つくる」をつくる、アルバック
ULVAC